

「One Health Summit」に参加し、グローバルリスクフォーラム(GRF)との連携協定(MoU)を締結しました (2015/10/4 - 10/6)

テーマ：国際連携、分野横断的連携
 場所：スイス・ダボス市

2015年10月4日から6日にかけて、スイス・ダボス市にて健康リスク管理に関して分野横断的に議論する「One Health Summit」が、グローバルリスクフォーラム(GRF)主催でスイスのダボス市において開催されました。同会議には、世界52ヶ国から公衆衛生・保健に加え、人獣共通感染症、農業、環境汚染、持続可能な開発など多様な分野の専門家233名が、災害科学国際研究所からは地域・都市再生研究部門の村尾修教授、災害医学研究部門の江川新一教授と浩日助教、情報管理・社会連携部門の小野裕一教授と伊藤拓也研究員が参加しました。

当研究所としては「One Health and the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction」と題して全体セッションを実施し、東北大学での防災の取り組みの紹介と、各教員の専門分野の視点から「One Health」と防災を関連付けさせた発表を行いました。会場との質疑応答も活発に行われ、災害科学国際研究所の各分野における研究の成果を示すことができました。

また、国際連携の活動の一環として、同会議を主催するGRFとの連携協定(MoU)の調印式を実施しました。MoUの締結によって、2017年に仙台での実施を構想している世界防災フォーラムに向けて、GRFと連携を進めることとなりました。

【発表一覧】 (下線は、当研究所所属教員)

江川 新一：One Health and the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction (全体総括)

小野 裕一：Global Centre for Disaster Statistics

村尾 修：'City' As A Living Environment From A Viewpoint Of Disaster Management

高田 礼人 (北大)：Ebola virus: Ecology and antiviral strategies

石井 圭一 (東北大農学部)：Nuclear Disaster And A Weakened Resilience - Reconstructing Agriculture With Aged Farmers

浩 日勤：One Health and Disaster Related Infectious Disease



発表者とGRF Walter Ammann 代表との集合写真



GRF との連携協定 (MoU) 調印式の様子

文責：伊藤拓也 (情報管理・社会連携部門)

(次頁へつづく)



浩 日勒 助教



村尾 修 教授



石井 圭一 准教授



江川 新一 教授



小野 裕一 教授



高田 礼人 教授